

多様な知識を身につけ スキルと論理的思考を持った人材を育成

愛知総合工科高校

間瀬 好康校長インタビュー



間瀬 好康 (ませ よしやす)
1980年、東京理科大学卒、同年豊田工機 (現ジェイテクト) 入社。教員免許取得後、87年に愛知県立半田工業高校着任。2013年、愛知県立御城丘高校長。16年から現職。

日本のものづくりの中核圏域の中心・愛知県だが、次代の人材育成の場として二〇一六年四月に開校した県立愛知総合工科高校 (名古屋市千種区、間瀬好康校長)。五系列七学科の本科の卒業生等が進む「専攻科」(二年制課程)の全国初の公設民営化も一七年度からスタートした。国内外からも注目される同校の革新的取組などを間瀬校長に聞いた。

—— 学校開学の経緯とプロフィールを教えてください。

間瀬 科学技術立国であるこの国の未来を担う人財を輩出するため、本校は一一七年の歴史を持つ県立愛知工業高校(今年三月閉校)と五十数年の歴史で五年前に閉校した同東山工業高校を統合する形で一六年春に東山工業高校跡地に開校しました。機械、電気、建設、化学、デザインの五系列七学科一学年計一〇クラス、四〇〇人の本科(三年制)と機械・電気系二学科四コース一学年四〇人の専攻科(二年制)を設置し、専攻科は全国初の公設民営の国家戦略特区制